

会 議 録

会 議 の 名 称	平成17年度 第3回 岩城地域協議会
開 催 日 時	平成17年11月24日(水) 午後2時00分
開 催 場 所	岩城会館
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	三船丸男委員、高野啓二委員、渡部秋美委員、佐々木稔子委員、川上淳子委員、 小林信子委員
会議次第 1. 開 会 2. あいさつ 3. 協議事項 1. 由利本荘市まちづくり計画基本構想について 2. その他 4. その他 5. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿

(39名)

会 長	前川 侔	委 員	阿部一雄	振興課長	渡部 昭
副会長	今野次男	委 員	中村慶一	市民課長	小川 弘
委 員	進藤 貢	委 員	佐々木由美子	福祉保健課長	佐々木了三
委 員	長谷部鋼次	委 員	今野房夫	保育園長	堀井幸二
委 員	東海林敬介	委 員	今野正樹	産業課長	今野五雄
委 員	竹内善治郎	委 員	三浦 稔	建設課長	伊藤尚武
委 員	進藤三男	委 員	早川あけみ	生涯学習課長	岸野芳夫
委 員	佐々木カネヨ	委 員	堀井ヤス子		
委 員	今野清子	委 員	須田まり子	事務局	今野政幸
委 員	進藤敏和			事務局	尾留川真由美
委 員	船木敬子	区 長	岸野長一郎	事務局	高山淳一
委 員	金森巳嗣	総合支所長	渡部専一	事務局	今野信幸
委 員	高野弘美				
委 員	高橋 修	企画調整部長	猿田正好		
委 員	伊藤修二	地域政策課長	早川修一		

会議の経過

平成17年度 第3回 岩城地域協議会

平成17年11月24日(木)

午後2時00分 開会

◇会長あいさつ

●岸野区長あいさつ

◇会長

それでは協議事項の由利本荘市まちづくり計画基本構想について、本日は企画調整部から猿田部長、地域政策課から早川課長がみえておりますので、二人より説明願います。

●猿田企画調整部長・早川地域政策課長より由利本荘市まちづくり計画基本構想について説明。

◇会長

委員の皆様よりご質問ありませんか。

○A委員

まちづくり計画と総合発展計画が並存する理由は。

●猿田企画調整部長

両者の内容は類似した部分があるが、まちづくり計画は合併時に策定されたものであり、総合発展計画は今後の市の施策を現時点で改めてまとめたものである。基本点は変わらない。

○A委員

審査会とは、開発審議会にあたるものという解釈でよいか。

●猿田企画調整部長

まちづくり計画が既にありスタートしているものであるため、これを総合発展計画に置き換えるにあたってご意見を頂く、というスタンスを勘案して審議会等の名称は使用しなかった。あえて審査会とした。

○A委員

基本構想段階では全市的な取り組みが中心になるのではないか。この段階で地域毎の特色を表現することは難しいと考えるが。

●猿田部長

お見込みのとおり。

○A委員

将来人口について 10 年後 83,000 人と想定され、7000 人程度減になる見込みであり、ひとつの町が消えるのと同等である。

これを 86,000 人として 3000 人程度増にする計画である。

減の要因は山間部の減と思われるが、集落が消滅することに等しい。地域自治が成り立たないということである。そういう視点は計画の中に見受けられない。

●猿田部長

非常に難しい問題であり、各施策の中で総合的に取り組んでいくつもりである。厳しい状況であることは認識しているが、夢を持っていただけの表現を用いたものなのでご理解いただきたい。

○B委員

人口減少については、住民に対して説明していくべきだ。由利本荘市のなかでも旧本荘市周辺は減らない。山間部から減少していくことになる。これに対する対策をすることは合併時から協議してきたことである。

地域全体の問題で行政に直接関わらないようなものについて、地域協議会として要望等を行っていくことは可能か。

●猿田部長

人口減少については表現の方法を検討する。地域の共通課題を市長等に届けたい、ということであればそれは可能。制約するものではない。

○B委員

市の行政上市民と関わりのあることは協議できるが、地域の人々が大事にしているもので行政と関わりないものは話の持っていく所がない。岩城地域においてはウェルサンピアの問題があるが、どこで誰に頼っていいかわからない。行政と直接関係無いが、このような問題を市長等にお願いしたい気持ちもある。

●猿田部長

この問題については、区長会議においても協議されている。4月下旬に前町長・センター長が来庁し話を伺ったこともあるので、問題として認識はされていると思う。しかし国の手順として競争入札的な手法になることが濃厚であるので行政としてどこまで係れるか判らない。市として引き受けることは難しいと考えるが、市民の知らないところで手続きがなされることが無いように検討していきたい。

●岸野区長

ウェルサンピアについては区長会議において、新市全体の問題として捉えてもらえるよう要請している。今日の話では競売に付される見込みのようであるが、市として意見を申し上げることは可能であるので、皆様からのご意見を伺いたい。

○B委員

住民が眉をひそめるような運営がされている例もあるという。そういうことが無いようにしてもらいたい。

○C委員

「協働」という言葉はどういう意味で使ったのか。

●猿田部長

それぞれの役割がある中で有機的に働きあうということを表現し、あえて使用したもの。

○D 委員

資料内の「市民」の定義は住民自治組織のことを指すとおもわれるが、行政で期待することはどうか。また、こういった基本構想、基本計画等は行政と市民が同じテーブルにつくのが基本ではないか。

●猿田部長

全ての地域活動を支えていくのは住民の皆さんの力である。財政的に施策的にバックアップするのが行政であると認識している。主体となる住民の皆さんの意見を反映させるのが本協議会であると思う。

各計画については基本構想等とリンクしていくものであり、本協議会の内容が反映されていくものである。

◇会長

他にご質問、ご意見ありませんか。

(なしの声あり)

◇会長

これより確認します。協議案件(1)「由利本荘市まちづくり計画基本構想」については、将来人口に係る中山間地等の認識についての意見を付して確認してよろしいでしょうか。

《異議なし》

◇会長

異議なしの声がありました。協議案件(1)「由利本荘市まちづくり計画基本構想」については、将来人口に係る中山間地等の認識についての意見を付して確認されたものと認めます。

●その他 報告事項 総合支所長説明(略)

閉会 午後4時 10 分